

機種名 落射型蛍光顕微鏡
メーカー カールツァイス
型式 LSM510
利用目的 固体試料や生体内での目的細胞の蛍光像および通常画像、微分干渉像の撮影
担当 引間准教授
連絡先 info(at)kitcia.kyutech.ac.jp



概要

狭帯域特性に優れた LED による励起波長を試料に照射する事により、発生した蛍光波長を検出する。従来の白色光源と蛍光フィルタを用いる場合に比べ、IR や UV 領域における漏れを押さえる事ができるため、サンプルの生存率を高めるだけでなく、蛍光の褪色も押さえる事ができる。最大 7 色の励起光を搭載できる LED 光源 Colibri 7 (ZEISS 社) を用いているため、測定波長の切り替えが速く、細胞へのダメージが少ない。

分析試料について

所有機器で使用できる励起波長は、385nm、475nm、555nm、そして 630nm の 4 波長となっている。複数波長による同時観察が可能である。

利用方法

- ・自己測定のみ

- * 蛍光顕微鏡の使用経験があるか、装置責任者の協力が得られることが必要。